Studio Communication Mediator

CMC-20A

取扱説明書

株式会社トライテック

ISSUED : Oct.2004

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、本機の性能を十分発揮して末長くお使いいただきますようお願いいたします。

■本機の特長

トーク・バックの際のモニター・ライン切替や、ラージ／スモール・スピーカー切替など、従来のアナログ・コンソールでは当たり前であった機能が、特に小型・中型のデジタル・コンソールでは備わっていないことがあります。そうした機能を個別に実現しようとすると意外と繁雑になり、手間もかかります。

CMC-20Aは、こうしたスタジオ・コミュニケーション機能をすべて備え、それを集中制御することで、システムの構築を容易にします。特に当社製カフ・システム**ACS-12A**と組合わせることで、カフ制御まで含めた豊富なコミュニケーション機能を提供します。

■各部の説明

前面パネル

- **電源スイッチ[POWER]**：
- **バック・トーク・レベル[BACKTALK 1,2]**：アナ・ブース側からコントロール・ルーム側へバック・トークする際のレベルをプリセットします。2系統あります。
- **トーク・バック・レベル[TALKBACK REM,DIR,AUX]**：コントロール・ルーム側からスタジオ／アナ・ブース側へトーク・バックする際の、トーク・バック・マイクのレベルをプリセットします。3系統の入力それぞれに設定できます。**REM** は専用リモート・コントローラー*内蔵マイク、**DIR** はディレクター用リモート・ボックス*の内蔵マイク、**AUX** は本体後面の**[T/B MIC-3 IN]** に接続されたマイクのレベルを調整します。
  ***リモート・コントローラーはいずれも別売です。

後面パネル

- **C/R MAIN-SP IN (L,R)**：コンソールのメイン・スピーカー用出力を接続します。
- **C/R SUB-SP IN (L,R)**：コンソールのサブ・スピーカー用出力を接続します。
- **STUDIO-SP IN (L,R) :**コンソールのスタジオ・モニター・スピーカー用出力を接続します。
- **BACK-TALK IN (1,2) :**バック・トーク用信号入力です。**ACS-12A** のバックトーク出力などを接続します。ライン・レベル入力です。
- **T/B MIC-3 IN :**トーク・バック・マイク-3の入力です。マイク・レベル入力です。
- **C/R MAIN-SP OUT (L,R) :**コントロール・ルーム(C/R)のラージ・スピーカー用パワー・アンプに接続します。
- **C/R SUB-SP OUT (L,R) :** コントロール・ルーム(C/R)のサブ・スピーカー用パワー・アンプに接続します。
- **STUDIO-SP OUT (L,R) :** スタジオ／ブース側のモニター・スピーカー用パワー・アンプに接続します。
- **STUDIO-HP OUT (L,R) :** ヘッドフォン用出力です。STUDIO SP OUTと同じものが出力されています

が、FU ONあるいはバック・トーク時のミュートはかかりません。ヘッドフォン用パワー・アンプに接続します。

- **AUX TB OUT :** トーク・バック信号の外部用出力です。
- **BACK-TALK OUT :** バック・トーク信号の出力です。バックトークをモニター・スピーカーから出力しない場合は、この出力で別のスピーカーを使います。
- **MODE** ： CMC-20Aの動作モードを設定します。詳細はAppendixを参照してください。
- **MIDI OUT :** DIMなどをMIDIでリモート・コンロトール可能なコンソールなどに対してMIDIコマンドを出力します（オプション）。
- **COMM :** 汎用のコミュニケーション・ポートです。コンソールのリモート・コントロールなどに使用します（オプション）。
- **DIR'S BOX :** ディレクター用のリモート・ボックス**CMC-DIR**（別売）を接続します。
- **CUE OUT :** キュー・ランプ・ボックス**CLBシリーズ**（別売）などを接続します。
- **REMOTE :** 専用のリモート・コントローラー**CMC-REM** (別売）を接続します。
- **ACS EXT.CTRL :** 当社製カフ・システム**ACS-12A**本体と接続することで、カフ機能まで含めたコミュニケーションが実現できます。**ACS-12A**以外は接続しないでください。
- **AC100v** ： 電源は安定したAC100vをお使いください。定格以外の電源は故障や火災の原因になりますので絶対に使用しないでください。

■本機の主な動作

本機の主な動作を、推奨接続例*の場合で説明します。
出荷時設定などの詳細はお問い合わせください。
*推奨接続例: **REMOTE** ← **CMC-REM** 専用リモート・コントローラー
DIR'S BOX ← **CMC-DIR** 専用ディレクターズ・ボックス
ACS EXT.CTRL ← **ACS-12A** Advanced Cough System
CUE OUT ← **CLB** シリーズ キュー・ランプ

[ラージ／スモール・スピーカー切替]

C/R MAIN-SP IN 及び**C/R SUB-SP IN** に接続された信号は、DIM(ディマー)コントロール回路を通ってそれぞれ**C/R MAIN-SP OUT**, **C/R SUB-SP OUT** に接続されています。DIM回路はトーク・バック時などモニター・レベルを下げる必要のあるときに自動的に働きます。

CMC-REM リモート・コントローラーで**ALT** を選択すると上記の出力が切り替わり、**C/R MAIN-SP IN** が**C/R SUB-SP OUT** に出力されます。

[バックトーク制御]

ACS-12A からバック・トーク・ステータスが送られると、**ACS-12A** からのバック・トーク音声信号1,2がミックスされて**BACK-TALK OUT** から出力されます。同時に**C/R SUB-SP OUT** の出力が**ACS-12A** のバック・トーク音声信号に切り替わります。

[スタジオ・スピーカー制御]

STUDIO-SP IN に入力された信号は、**STUDIO-SP OUT** に出力されています。リモート・コントローラーの**TB**(トーク・バック)スイッチが押されると、本来の信号レベルを絞り(ディマー)、トーク・バック音声信号を重畳して出力します。この信号は**STUDIO-HP OUT** にも出力されます。なお標準では**AUX T/B OUT** にはトーク・バック音声信号が常に出力されています(ライン・レベル)。

また**ACS-12A** から**FU ON** ステータス/バックトーク・ステータスが送られるか、リモート・コントローラーの**SLS MUTE** スイッチが押されると、**STUDIO-SP OUT** はカットされます。

ご注意:上記の説明は出荷時の設定に従っています。設定の変更によっては上記と異なる動作になる場合があります。

■接続時のご注意

本機の性能を十分に発揮させるためには、適切なシステム設計と周辺機器との接続についての専門知識が必要です。状況によっては高度な配線技術が必要になる場合もあります。

お客様の側で本機と他の機器との接続を行われる際には、この説明書及び添付系統図などを十分ご理解の上で行ってください。適正な接続が行われない状態では、本機が正しく動作しないばかりか、本機及び接続されている他の機器に損傷を与える場合があります。このような場合は当社では一切の責任を負いませんのでご了承ください。

接続作業はなるべく当社あるいは信頼できる業者にご依頼されることをお薦めいたします。

■故障と修理について

弊社製品は、すべて厳重な出荷検査を経て出荷されています。出荷後1年以内に起こった自然故障につきましては、無償修理が保証されています。修理をご依頼の際には、本機に添付されております保証書の保証内容をご確認ください。

■仕　様

オーディオ部

入 力 部

名　称	コネクタ	信号レベル
C/R MAIN-SP IN L,R	XLR3-31相当 x2 [B]	+4dBV
C/R SUB-SP IN L,R	XLR3-31相当 x2 [B]	+4dBV
STUDIO-SP IN L,R	XLR3-31相当 x2 [B]	+4dBV
T/B MIC-3 IN	XLR3-31相当 x1 [B]	-50dBV
BACK-TALK IN 1,2	XLR3-31相当 x2 [U]	+4dBV

出　力　部

名　称	コネクタ	信号レベル
C/R MAIN-SP OUT L,R	XLR3-32 相当 x2 [B]	+4dBV
C/R SUB-SP OUT L,R	XLR3-32 相当 x2 [B]	+4dBV
STUDIO-SP OUT L,R	XLR3-32 相当 x2 [B]	+4dBV
STUDIO-HP OUT L,R	XLR3-32 相当 x2 [U]	-2dBV
AUX TB OUT	XLR3-32 相当 x1 [U]	-4dBV
BACK-TALK OUT	XLR3-32 相当 x1 [U]	-16dBV

*[B]=Balanced, [U]=Unbalanced ／いずれも#2ホット

制　御　部

名　称	コネクタ
DIR'S BOX	DE-9S
CUE OUT	DE-9S
REMOTE	DA-15S
ACS EXT.CTRL	DB-25S
COMM	DE-9S
MIDI OUT	DIN-5P

寸　　法　：　482mm(W) x 88mm(H) x 254mm(D)（突起部含まず）

重　　量　：　約 5kg

電　　源　：　AC100v　50/60Hz

消費電力　：　約 8VA

■仕様、外観は、改良などのため予告なく変更することがあります 。

Appendix

■Connectors Pin Assignment Tables

DIR'S BOX [DE-9S]

Pin	Name
1	+24v Out
2	0v GND
3	TalkBack Command In
4	CUE Command In
5	
6	
7	TalkBack Mic Signal In (+)
8	TalkBack Mic Signal In (-)
9	Mic GND (Shield)

CUE OUT [DE-9S]

Pin	Name
1	+24v Out
2	0v GND
3	CUE-Lamp Out
4	CUE Tally Out (a)
5	
6	+24v Out
7	0v GND
8	CUE-Lamp Out
9	CUE Tally Out (b)

* 4.9. : Normal Open Contact

REMOTE [DA-15S]

Pin	Name
1	+24v Out
2	0v GND
3	C/R ALT-SP Command In
4	STUDIO-MUTE Command In
5	STUDIO MUTE Tally Out
6	FU-1 Command In
7	FU-1 ON-Tally Out
8	FU-2 Command In
9	FU-2 ON-Tally Out
10	TalkBack Command In
11	CUE Command In
12	AUX-TalkBack Command In
13	TalkBack Mic Signal In (+)
14	TalkBack Mic Signal In (-)
15	Mic GND (Shield)

ACS EXT.CTRL [DB-25S]

Pin	Name
1	+24v Out
2	+24v Out
3	0v GND
4	0v GND
5	FU-1 Command Out
6	FU-1 ON-Tally In
7	FU-2 Command Out
8	FU-2 ON-Tally In
9	CUE-1 Command Out
10	CUE-2 Command Out
14	FU-ON Tally In (NO)
16	FU-ON Tally In (COM)
17	BackTalk Tally In (NO)
19	BackTalk Tally In (COM)

* Not Specified Pins are Reserved.

Appendix

■MODE 設定スイッチ

DIP SW	ON	OFF
1 : BT to ALT	BackTalk音声をC/R SUB-SP OUTにも出力します	BackTalk音声はBACK-TALK OUTからのみ出力されます
2 : AutoMute	ACS-12AのFU-ON及びBT-ON時、STUDIO-SP OUT出力をカットします	ACS-12AのFU-ON及びBT-ON時、STUDIO-SP OUT出力をカットしません
3 : TB /AutoMute	DIP-2がONでSTUDIO-SP OUT出力がカットされている時、TalkBackがかかるとカットを解除します	DIP-2がONでSTUDIO-SP OUT出力がカットされている時、TalkBackがかかってもカットしたままです
4 : TB / MuteSw	CMC-REMのSLS MUTEスイッチがONでSTUIO-SP OUT出力がカットされている時、TalkBackがかかるとカットを解除します	CMC-REMのSLS MUTEスイッチがONでSTUIO-SP OUT出力がカットされている時、TalkBackがかかってもカットを解除しません
5 : C/R DIM ENA	TalkBackがかかった時、C/R MAIN-SP OUT出力にDIM(ディマー)をかけます	TalkBackがかかった時、C/R MAIN-SP OUT出力にDIM(ディマー)をかけません
6 : TB-Mic / Sw	CMC-DIRとCMC-REMのいずれかのTalkBackスイッチが押された時、すべてのT.BマイクがONになります	T.BマイクはTalkBackスイッチが押されたユニットのみがONになります
7 :		
8 :		

■出荷時は7.8.を除きすべてONに設定されています。

■各スイッチを切り替える際は必ず本機の電源を切った状態で行ってください。

■各スイッチは正しく設定しないと予期しない動作をする場合があります。また相互に関連するものもありますので、設定の際は十分に注意し、必要でない設定は出荷時のままとしてください。

Appendix

<<ご 注 意 >>

■**[ACS EXT.CTRL]** コネクタにはACS-12以外の機器を接続しないでください。

■その他のコネクタへの接続は、『接続参考図』を参照してください。

■MIDI OUTおよびCOMMコネクタは、オプション設定されていないときは内部は何もつながっていません。またピン番号はオプションによって変わります。

■+24v出力の消費電流は、すべてのコネクタの合計で500mAを越えないこと。

■オーディオ入出力コネクタは、すべて2番ホットです。

株式会社トライテック

東京都品川区小山台 1-8-5
〒142-0061
Tel.03-3793-8411㈹
Fax.03-3793-8413
URL http://www.tritech.tv/